

中干しを行い、稲を強くしましょう！

近年、高温の影響で分げつが過剰になり、肥料切れが起こりやすい状況です。**早めの中干しを行いましょう。**

中干しは、無効分げつを抑え、根に酸素を供給し、稲体を強くする効果があります。ほ場ごとに現在の茎数を確認し、下記の表を参考に中干しを行いましょう。溝切りもあわせて実施しましょう。

表：栽植密度ごとの中干し時期の目安

栽植密度(坪あたり)	50 株植え	60 株植え	70 株植え
株あたり茎数	20～21 本	16～18 本	14～15 本



中干しの開始適期



中干しの程度

小さいヒビが入り、足が少し沈む程度

【還元障害が発生している場合】

還元障害とは土壌中の有機物が湛水状態で分解されることで土中にガスが発生・蓄積し、水稻の生育が阻害される現象です。

放っておくと、根いたみが発生し、株元が黒くなる、分げつが増えない等の症状が発生し、生育が遅れます。

2～3日間、田面を水から出し、土中のガスを逃がしましょう。